



■牛鬼会議ワークショップ

11月13日(水)に本年度2回目の牛鬼会議ワークショップが開催されました。愛媛大学地域コーディネーター大本 敬久 さんから「宇和島における過去の南海地震の被害」、市危機管理課 富永課長補佐から「南海トラフ地震の被害想定と被災者の生活再建」について講習がありました。

講習後のグループワークでは、南海トラフ地震を想定した被災後の生活再建について考え、被災者の状況に合わせた再建方法を発表しました。参加者からは「災害時に使える支援制度を事前に知っておくことの大切さや、大規模災害からの再建方法をジブンゴトとして捉えることができた」との感想があり、一人一人が災害からの生活再建について具体的に学ぶことができる場となりました。



■被災地と香川大学生の協働による復興支援

11月16日(土)～17日(日)に香川大学生約40人によるボランティア活動が行われました。平成30年7月豪雨災害以後、香川大学と吉田町玉津地区のかんきつ農家との交流が10回以上にわたり続いていて、今回は被災後に植栽した園地で初となるかんきつの収穫作業に学生が参加しました。また有害鳥獣による園地への被害が課題となっていることから、農家と学生が協力して鳥獣害防止柵の設置作業にも汗を流しました。

かんきつ農家の中島 利昌 さんは「豪雨災害の復旧支援のつながりが、今も被災地の農業支援として続いていることは大変ありがたい」と話し、参加した学生からも「被災地支援の体験はとても貴重で、これからも関わり続けたい」との声がありました。被災地支援をきっかけとしたつながりが、時間の経過とともに新しい協働の形として受け継がれています。



問 (特非) 宇和島NPOセンター ☎49-3563 または 市民課市民協働推進室 ☎49-7004